

平成22年6月期 第1四半期決算短信

平成21年11月11日

上場会社名 株式会社 自重堂

上場取引所 東

コード番号 3597 URL <http://www.jichodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 出原 正博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部本部長

(氏名) 谷口 郁志

TEL 0847-51-8111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第1四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第1四半期	3,651	△18.2	276	△6.0	△290	—	△183	—
21年6月期第1四半期	4,464	—	293	—	2	—	△26	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第1四半期	△11.10	—
21年6月期第1四半期	△1.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第1四半期	30,427	22,162	72.8	1,338.43
21年6月期	30,955	22,948	74.1	1,385.82

(参考) 自己資本 22年6月期第1四半期 22,162百万円 21年6月期 22,948百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00
22年6月期	—	—	—	—	—
22年6月期 (予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	9,000	△10.4	750	△22.5	850	—	500	—	30.19
通期	18,500	△2.0	1,750	△6.6	1,950	108.2	1,150	144.1	69.45

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年6月期第1四半期 17,653,506株 21年6月期 17,653,506株

② 期末自己株式数 22年6月期第1四半期 1,094,879株 21年6月期 1,093,721株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年6月期第1四半期 16,559,457株 21年6月期第1四半期 16,854,327株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の業種においては回復の兆しが見え始めているものの、完全失業率が過去最悪の水準となるなど、雇用環境、個人消費においては引き続き厳しい状況が続いています。

このような状況のもと当社グループは、ユニフォーム部門におきましては、ユーザーのニーズの情報収集・分析に努め、より価格訴求力のある商品を中心に商品開発を強化いたしました。またカジュアルテイストのユニフォームとして「JAPAN (日本)」と「WIN (勝つ)」という意味をこめたブランド「Jawin (ジャウイン)」の広告宣伝や販促キャンペーンを積極的に行い、ブランドの知名度向上と新たな需要の喚起に努めました。セーフティスニーカー、医療用白衣においても、新商品の開発・展開を強化し、新たな営業の柱とするべく、販売強化に努めました。

メンズ部門におきましては、市場のニーズに幅広く対応するため、企画営業体制を強化し、新たな流通ルートの開拓を進めるとともに、既存取引先との取り組みを強化してまいりました。

また、全社をあげて、新しい分野での商品開発、新しい販売ルートの開拓、新しいビジネスモデルの構築を重要課題として取り組み、その一環として、平成21年8月には、マスクの販売を開始いたしました。新型インフルエンザの感染拡大防止対策も含め、品質の良いマスクをリーズナブルな価格でより多くの方々に供給させて頂くことにより、少しでも一般消費者や当社販売代理店の皆様のお役に立ちたいと考えています。引き続き、衣料を事業の中心に据えながらも、新しい分野での商品開発に努力してまいります。

積極的な営業を展開いたしましたが、国内景気の長期低迷による需要の減退は大きく、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,651百万円（前年同四半期比18.2%減）となりました。利益面におきましては、売上高の減少により、営業利益は276百万円（前年同四半期比6.0%減）となりました。急激な円高の進行により、輸入取引に係る為替変動リスクをヘッジする目的で行っておりますクーポンスワップ取引に係る時価評価等によりデリバティブ評価損555百万円を計上したことなどにより、経常損失は290百万円（前年同四半期は経常利益2百万円）、四半期純損失は183百万円（前年同四半期は四半期純損失26百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ527百万円減少し、30,427百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ420百万円減少し、18,657百万円となりました。これは主に、現金及び預金が350百万円、商品及び製品が334百万円増加したことと、受取手形及び売掛金が1,087百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ106百万円減少し、11,770百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が49百万円、投資有価証券が評価替えにより49百万円減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ261百万円減少し、5,193百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が159百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ519百万円増加し、3,071百万円となりました。これは主に、固定負債その他が526百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ786百万円減少し、22,162百万円となりました。これは主に、利益剰余金が763百万円減少したことなどによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度より350百万円増加し、8,193百万円（前連結会計年度比4.5%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は962百万円（前年同四半期は1,427百万円の獲得）となりました。これは主に、デリバティブ評価損555百万円、売上債権の減少1,087百万円等による増加と、税金等調整前四半期純損失314百万円、たな卸資産の増加208百万円、仕入債務の減少159百万円等による減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1百万円（前年同四半期は106百万円の獲得）となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入58百万円等による増加と、投資有価証券の取得による支出76百万円等による減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は547百万円（前年同四半期は553百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額546百万円等による減少によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年8月6日発表の、平成22年6月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,214,873	7,864,853
受取手形及び売掛金	4,464,973	5,552,689
有価証券	278,786	284,039
商品及び製品	4,805,366	4,471,258
仕掛品	55,539	84,436
原材料及び貯蔵品	136,623	232,876
繰延税金資産	470,535	310,810
その他	239,352	289,692
貸倒引当金	△8,581	△12,339
流動資産合計	18,657,468	19,078,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,749,103	2,798,458
土地	3,891,232	3,895,143
その他(純額)	170,953	174,410
有形固定資産合計	6,811,289	6,868,013
無形固定資産		
	30,398	29,480
投資その他の資産		
投資有価証券	4,076,079	4,125,990
繰延税金資産	549,511	539,920
その他	398,122	409,847
貸倒引当金	△95,396	△96,308
投資その他の資産合計	4,928,316	4,979,449
固定資産合計	11,770,004	11,876,943
資産合計	30,427,472	30,955,261

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,462,760	4,622,094
未払金	347,754	370,841
未払法人税等	23,243	85,607
返品調整引当金	52,688	60,080
賞与引当金	96,710	174,032
その他	210,179	141,708
流動負債合計	5,193,338	5,454,364
固定負債		
退職給付引当金	344,472	351,673
その他	2,727,172	2,200,266
固定負債合計	3,071,644	2,551,940
負債合計	8,264,982	8,006,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,827,562	1,827,562
利益剰余金	18,277,900	19,041,365
自己株式	△945,257	△944,419
株主資本合計	22,142,704	22,907,008
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,985	41,690
繰延ヘッジ損益	△6,200	257
評価・換算差額等合計	19,784	41,948
純資産合計	22,162,489	22,948,956
負債純資産合計	30,427,472	30,955,261

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,464,692	3,651,478
売上原価	3,209,403	2,553,254
売上総利益	1,255,288	1,098,224
販売費及び一般管理費	961,340	821,815
営業利益	293,948	276,408
営業外収益		
受取利息及び配当金	19,033	9,596
受取賃貸料	40,883	34,314
為替差益	33,717	—
その他	22,688	22,579
営業外収益合計	116,323	66,491
営業外費用		
賃貸収入原価	13,882	13,068
為替差損	—	63,392
デリバティブ評価損	393,097	555,567
その他	412	1,157
営業外費用合計	407,393	633,186
経常利益又は経常損失(△)	2,877	△290,286
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	4,669
特別利益合計	—	4,669
特別損失		
固定資産除売却損	—	3,429
投資有価証券評価損	22,510	25,910
貸倒引当金繰入額	22,270	—
特別損失合計	44,781	29,339
税金等調整前四半期純損失(△)	△41,903	△314,956
法人税、住民税及び事業税	15,740	23,039
法人税等調整額	△31,216	△154,122
法人税等合計	△15,476	△131,083
四半期純損失(△)	△26,426	△183,872

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△41,903	△314,956
減価償却費	57,707	51,292
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	24,062	△4,669
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△101,855	△77,321
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△12,470	△7,391
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△8,729	△7,201
受取利息及び受取配当金	△19,033	△9,596
投資有価証券評価損益 (△は益)	22,510	25,910
デリバティブ評価損益 (△は益)	393,097	555,567
売上債権の増減額 (△は増加)	1,257,545	1,087,716
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△80,194	△208,957
仕入債務の増減額 (△は減少)	△151,320	△159,334
その他	90,691	108,595
小計	1,430,108	1,039,653
利息及び配当金の受取額	19,080	9,725
法人税等の支払額	△21,761	△87,354
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,427,427	962,024
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,480	△7,480
定期預金の払戻による収入	7,480	7,480
有形固定資産の取得による支出	△2,687	△5,259
有形固定資産の売却による収入	—	4,620
無形固定資産の取得による支出	△260	△3,285
投資有価証券の取得による支出	△5,275	△76,470
投資有価証券の売却による収入	—	20,922
投資有価証券の償還による収入	119,959	58,292
その他	△4,759	△282
投資活動によるキャッシュ・フロー	106,975	△1,463
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,719	△838
自己株式の売却による収入	381	—
配当金の支払額	△552,244	△546,310
財務活動によるキャッシュ・フロー	△553,583	△547,148
現金及び現金同等物に係る換算差額	33,717	△63,392
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,014,536	350,019
現金及び現金同等物の期首残高	5,276,154	7,843,173
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,290,691	8,193,193

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）において、当社及び連結子会社は衣料品製造販売を事業内容としており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）において、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。また、本邦以外の国又は地域に所属する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）において、海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。